

経営比較分析表（平成29年度決算）

神奈川県 座間市

業務名	業種名	事業名	類似団区分	管理者の情報
法適用	水道事業	末端給水事業	A3	民間企業出身
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	1か月20m ³ 当たり家賃料(円)	
-	85.66	99.94	2,207	

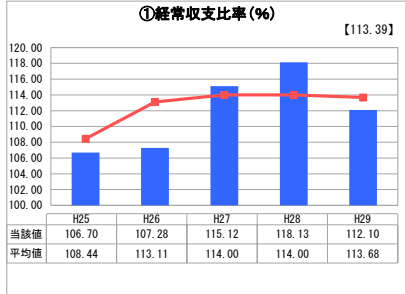
人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
130,519	17.57	7,428.51
現在給水人口(人)	給水区域面積(km ²)	給水人口密度(人/km ²)
130,358	17.01	7,663.61

グラフ凡例

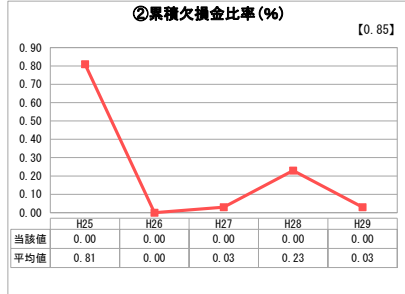
- 当該団体値(当該値)
- 類似団体平均値(平均値)

【】 平成29年度全国平均

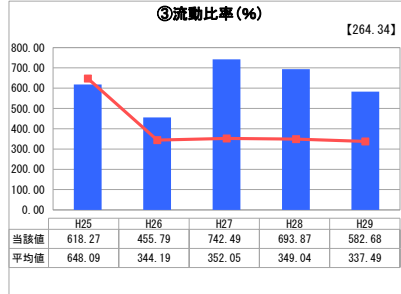
1. 経営の健全性・効率性



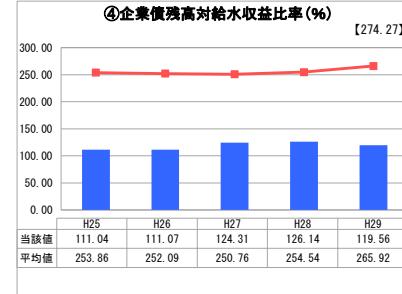
「経常損益」



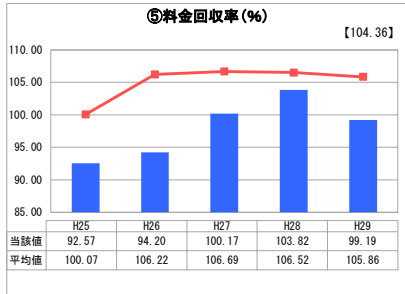
「累積欠損」



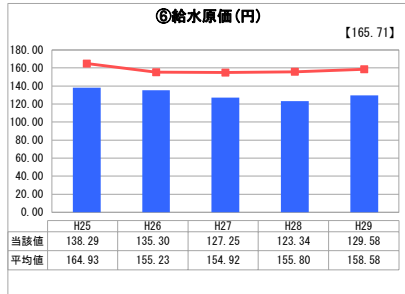
「支払能力」



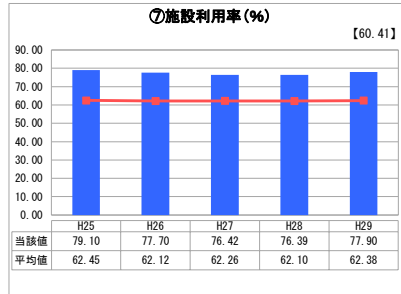
「債務残高」



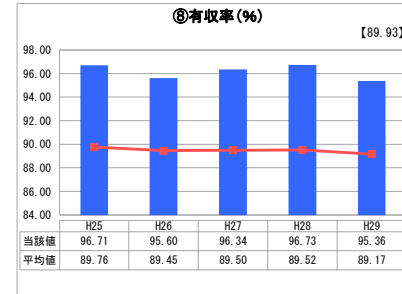
「料金水準の適切性」



「費用の効率性」

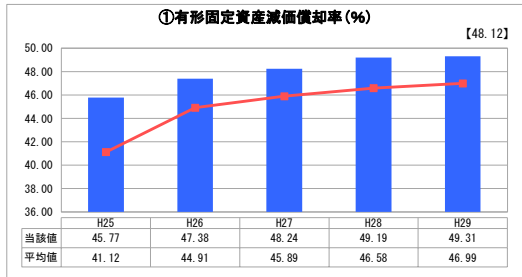


「施設の効率性」

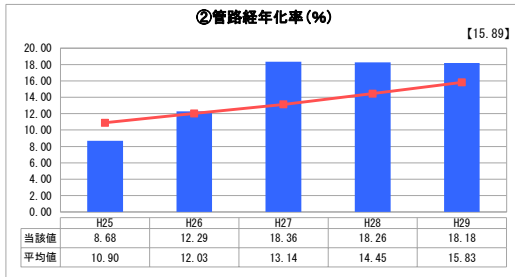


「供給した配水量の効率性」

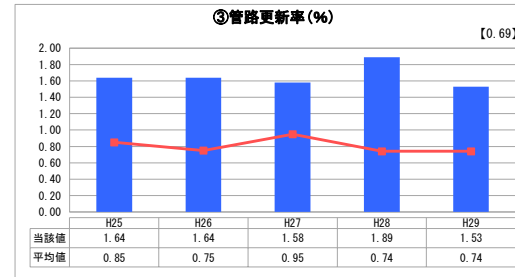
2. 老朽化の状況



「施設全体の減価償却の状況」



「管路の経年化の状況」



「管路の更新投資の実施状況」

分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

本市では、前年度と比較して費用が増加したことから、経常収支比率は前年度対比マイナス6.03ポイント、料金回収率は100%を下回る数値となりました。給水原価についても同様の理由により増加しています。ただし、類似団体と比較して、流動比率は高い水準にあり、また、企業債残高対給水収益比率は低い数値で推移していることから、費用・債務に対する支払能力は高いといえます。また、施設利用率及び有収率は類似団体と比較して高い値を示しており、効率性は確保されています。しかし、今後も給水収益の減少傾向、施設の老朽化による維持管理費の増加傾向は続くと思われ、更新に必要な資金をいかに確保していくかが課題となっています。

2. 老朽化の状況について

管路更新率は高い数値で推移しており、管路の更新ペースは良好です。ただし、有形固定資産減価償却率及び管路経年率は類似団体平均値を上回る数値であり、管路の更新等の必要性が高いといえます。更新が必要な管路は今後も更に増加するため、更新に必要な資金をいかに確保していくかが課題となっています。

全体総括

本市の水道事業は、水需要の減少傾向、施設の経年化に伴う維持管理費の増加傾向は続くと思われ、将来的に厳しい経営状況になると考えられます。また、持続的な経営を行うためには、内部留保資金を十分に確保する必要があります。今後も企業債に過度に依存することなく、経費節減に努めるとともに、適正な料金水準を検討し、健全な経営を目指します。

※ 平成25年度における各指標の類似団体平均値は、当時の事業数を基に算出していますが、管路経年率及び管路更新率については、平成26年度の事業数を基に類似団体平均値を算出しています。